

平成24年度食の安全に関する市民（県民）アンケート 報告書

1 調査の目的

腸管出血性大腸菌O157による食中毒事件や福島第一原発事故に伴う食品の放射性物質汚染等の食にまつわる様々な問題の発生を背景に、食品の安全・安心に対する市民の関心は依然として高い状況にあります。

食の安全を確保することへの関心が高まる中で、市民の意見・要望を把握し、「前橋市食品衛生監視指導計画」策定の基礎資料とします。

2 調査の実施方法

食品関係イベント開催時にイベント会場にアンケートを設置、もしくは参加者に配布しました。アンケートを実施したイベントは下記のとおりです。

開催日	イベント名
H24.7.26	食中毒予防講演会 事例から探る食中毒発生の要因
H24.8.4、5	前橋市食品衛生フェア
H24.9.30	楽しく学ぼうきのご塾2012

3 調査の結果

計343のアンケート結果が得られました。（参考 前年度は427）

4 結果の概要

< 食品の安全性について >

- 1 食品の安全性について、8割以上の人が不安を感じている
- 2 食品の安全性の不安がある人が、最も不安を感じるのは「放射性物質による食品汚染」
- 3 放射性物質による食品汚染に不安を感じる理由として、「放射性物質の健康への影響がよく分からないから」を選んだ人が4割
- 4 放射性物質による食品汚染に不安を感じない理由は「流通している食品は検査されているから」
- 5 肉を生で食べることに関するリスクは広く知られてきている
- 6 農薬・食品添加物・動物用医薬品の使用について、「基準を守るだけでなく使用はなるべく少なくなるようにしてほしい」との声が過半数
- 7 食品の安全性に関する情報を得やすい媒体は「テレビ」、「新聞」、「市広報」
- 8 もっと知りたい食品の安全性に関する情報として5割前後の人が「農薬、食品添加物、遺伝子組換え食品などについての基礎知識」、「食品などの検査

結果」、「食品の健康被害や回収等の情報」を希望

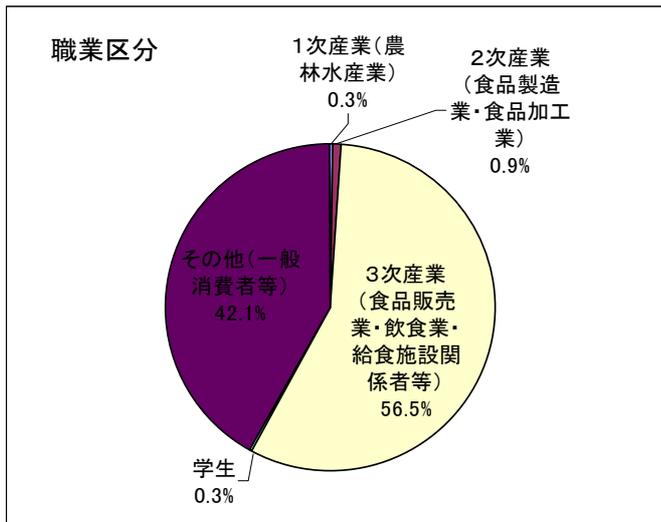
< 食品の表示について >

- 9 食品表示は「消費期限・賞味期限」及び「原産地・原産国」を参考にする人は6割以上いるが、その他の表示を参考にする人は3割以下
- 10 栄養成分表示は、強調表示であれば半数以上の人が参考にする

< 保健所の業務について >

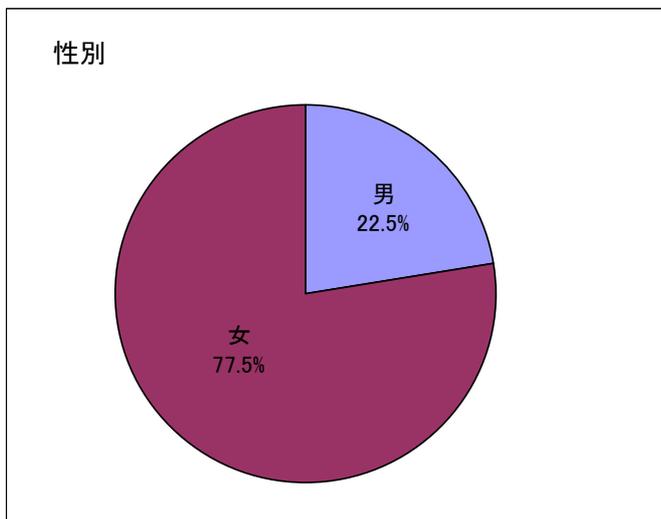
- 11 前橋市食品衛生監視指導計画の内容は、ほとんどの人が知らない
- 12 行政に望む取り組みは「輸入食品の安全性確保」が最も多く、次いで「農薬の使用・残留に関する農作物の安全性確保」、「農畜水産物の放射性物質汚染調査」

1 回答者について



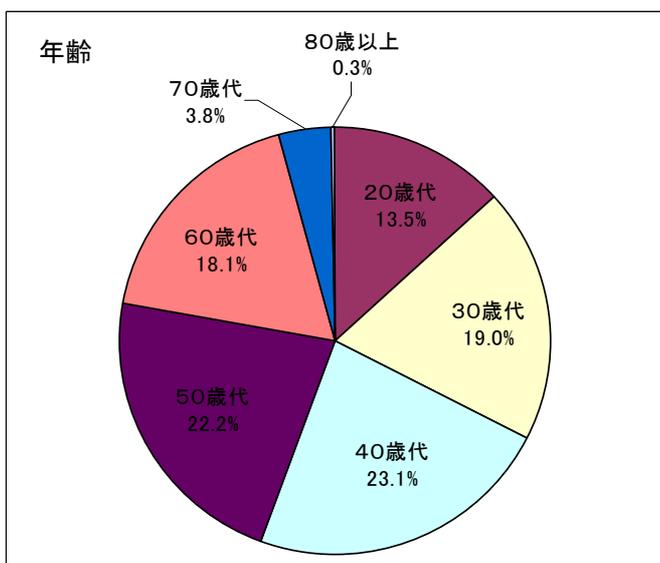
問1 職業区分 内訳

1次産業(農林水産業)	1
2次産業(食品製造業・食品加工業)	3
3次産業(食品販売業・飲食業・給食施設関係者等)	192
学生	1
その他(一般消費者等)	143
無回答	3
合計	343



問2 性別 内訳

男	77
女	265
無回答	1
合計	343



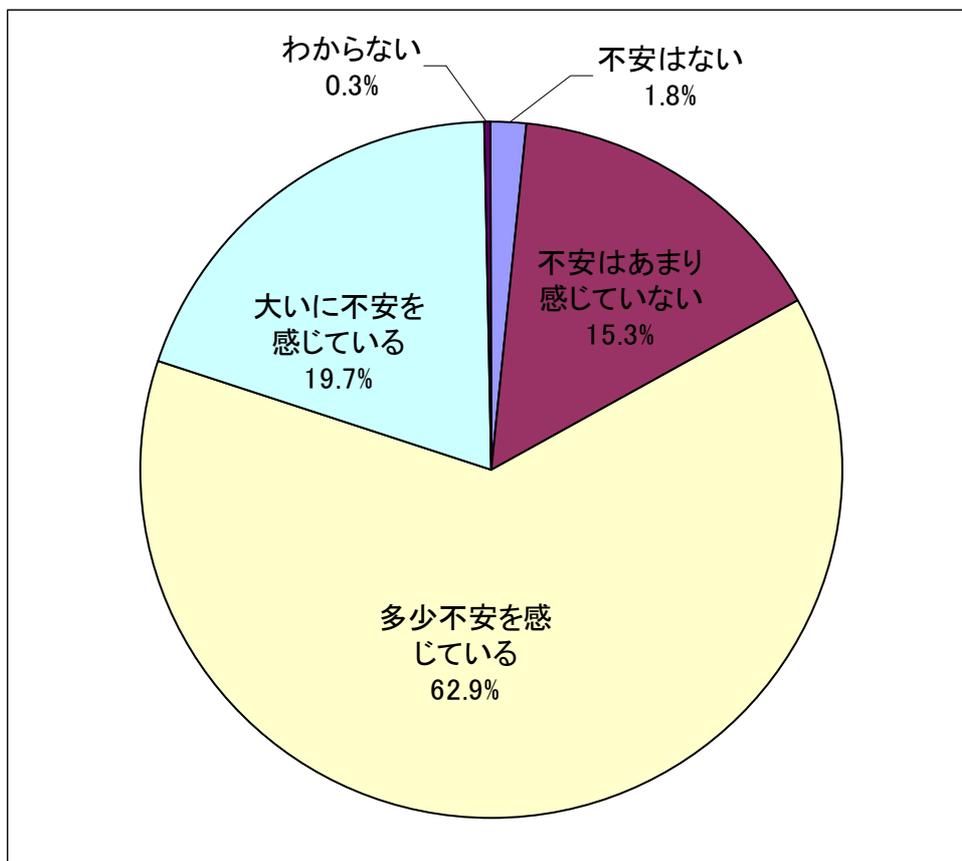
問3 年齢 内訳

19歳以下	0
20歳代	46
30歳代	65
40歳代	79
50歳代	76
60歳代	62
70歳代	13
80歳以上	1
無回答	1
合計	343

2 食品の安全性について

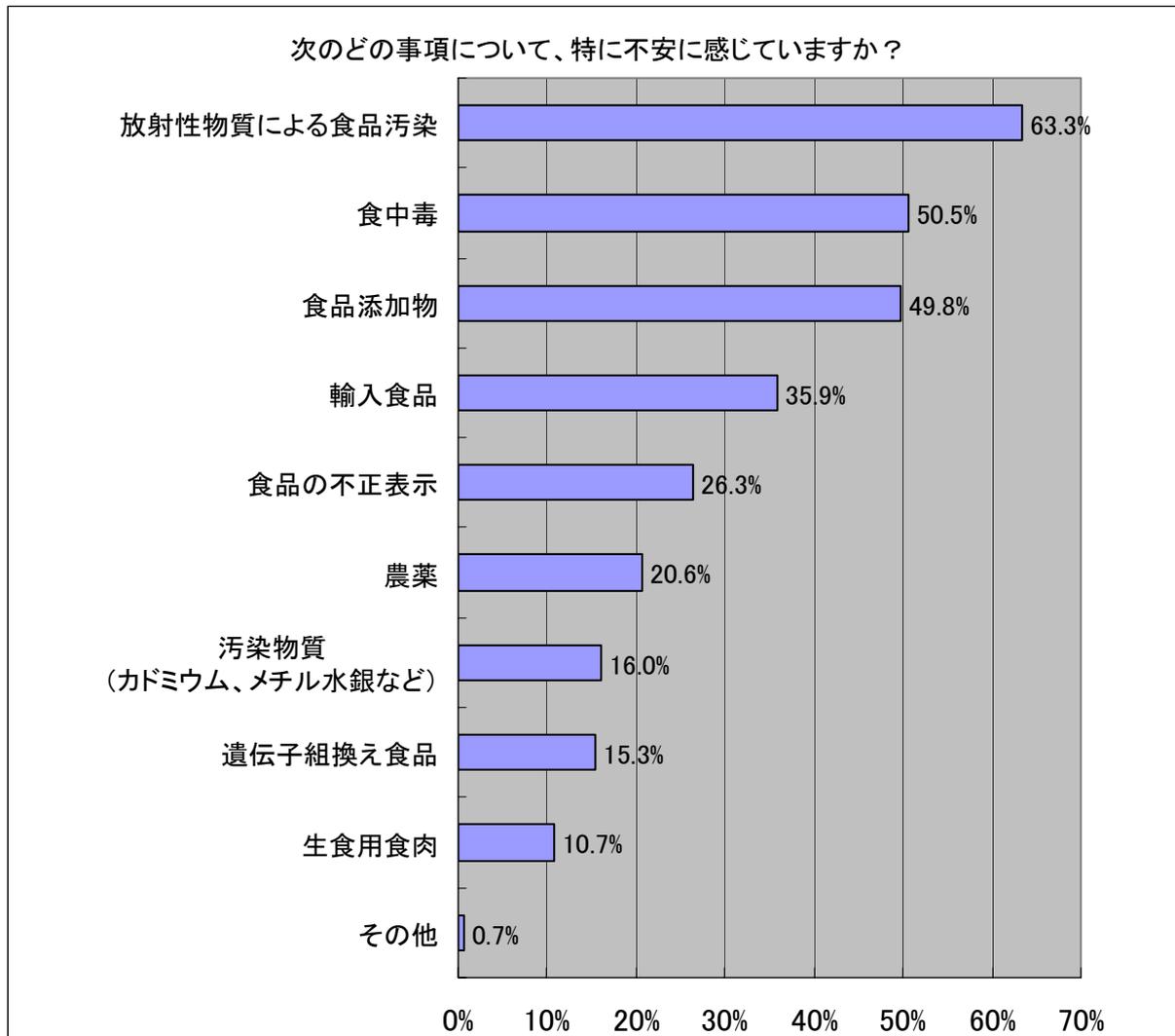
問4 あなたは食品の安全性についてどのように感じていますか？

多少不安を感じている人が最も多く、全体の約6割を占めています。大いに不安を感じている人も含めると8割以上の方が食品の安全性について不安を感じているという結果でした。



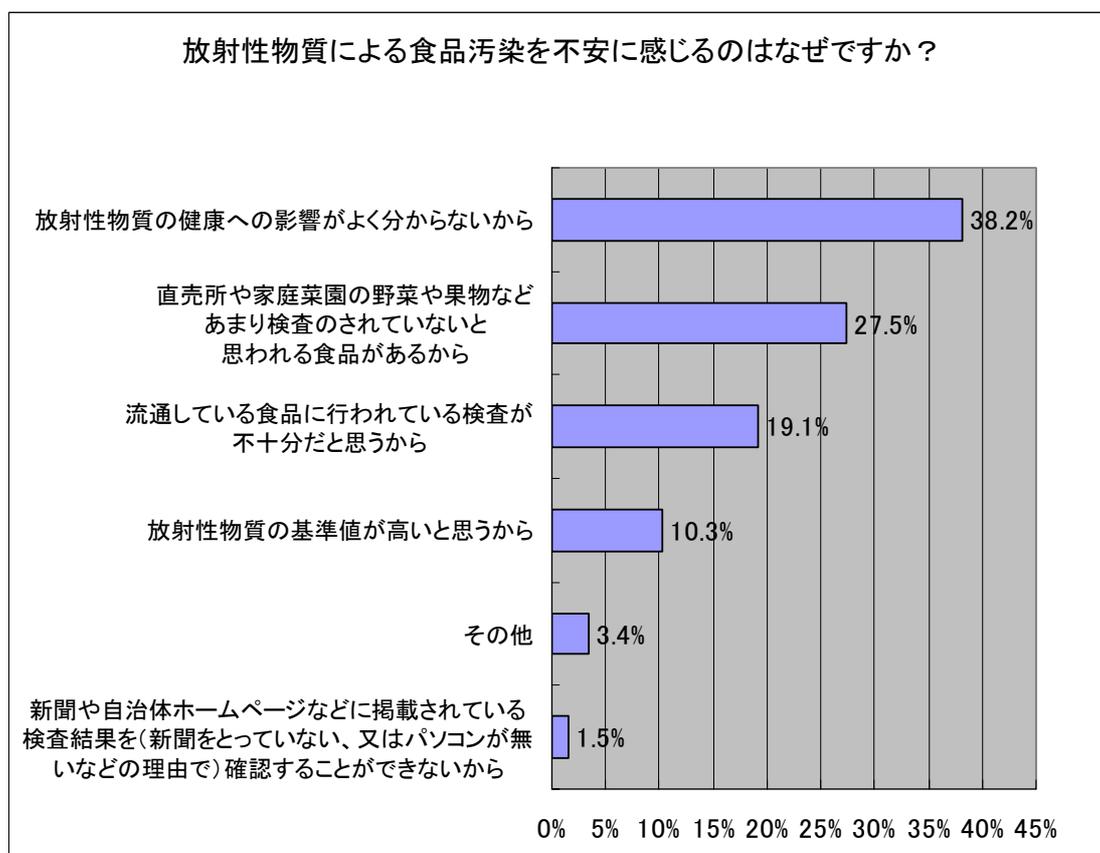
問5 問4において「(3) 多少不安を感じている」もしくは「(4) 大いに不安を感じている」のいずれかを選んだ方にお聞きします。次のどの事項について、特に不安に感じていますか？ 3つまで選んでください。

食品の安全性に不安を感じている人のうち、「放射線による食品汚染」について不安を感じている人が約6割と最も多く、「食中毒」及び「食品添加物」が約5割と続きました。



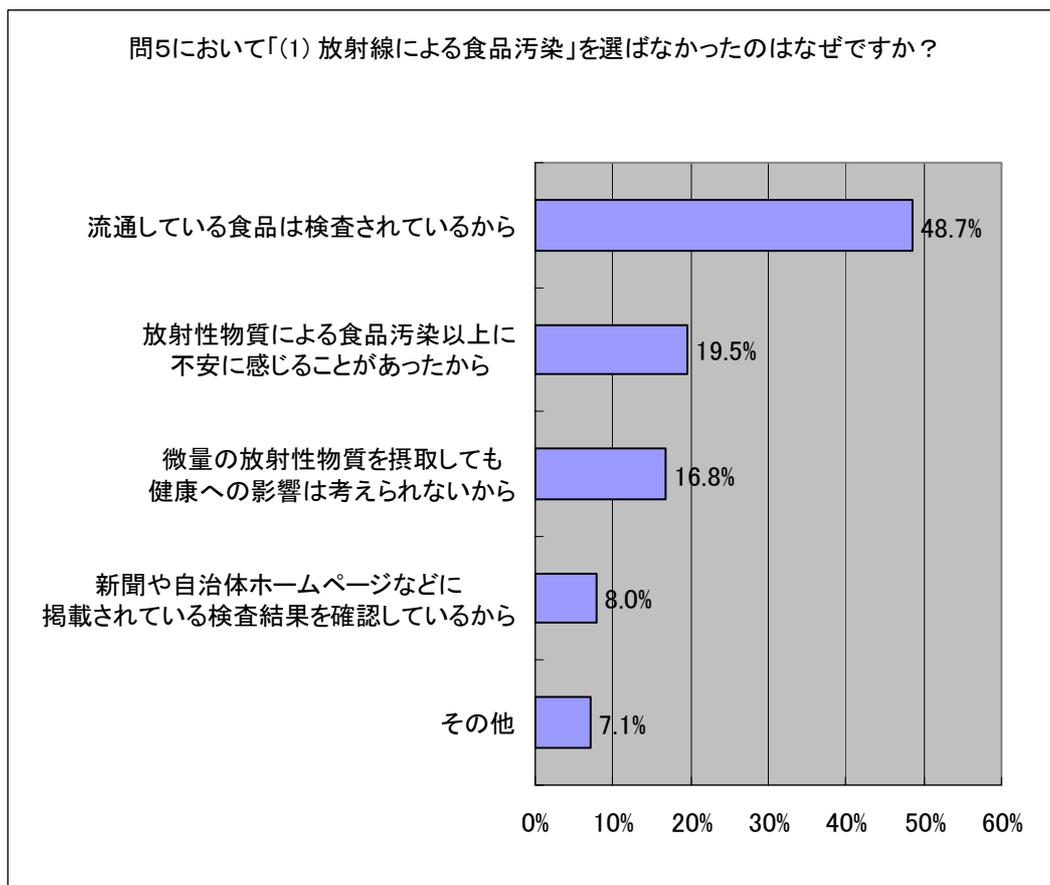
問 6 問 5 において「(1) 放射性物質による食品汚染」を選んだ方にお聞きします。放射性物質による食品汚染を不安に感じるのはなぜですか？あなたの考えに最も近いと思うものを 1 つ選んでください。

「放射性物質の健康への影響がよく分からないから」が 38.2% で最も多く、「直売所や家庭菜園の野菜や果物などあまり検査のされていないと思われる食品があるから」が 27.5%、「流通している食品に行われている検査が不十分だと思うから」が 19.1%、「放射性物質の基準値が高いと思うから」が 10.3% でした。また、「新聞や自治体ホームページなどに掲載されている検査結果を(新聞をとっていない、又はパソコンが無いなどの理由で)確認することができないから」が約 2% と最も少ない結果でした。



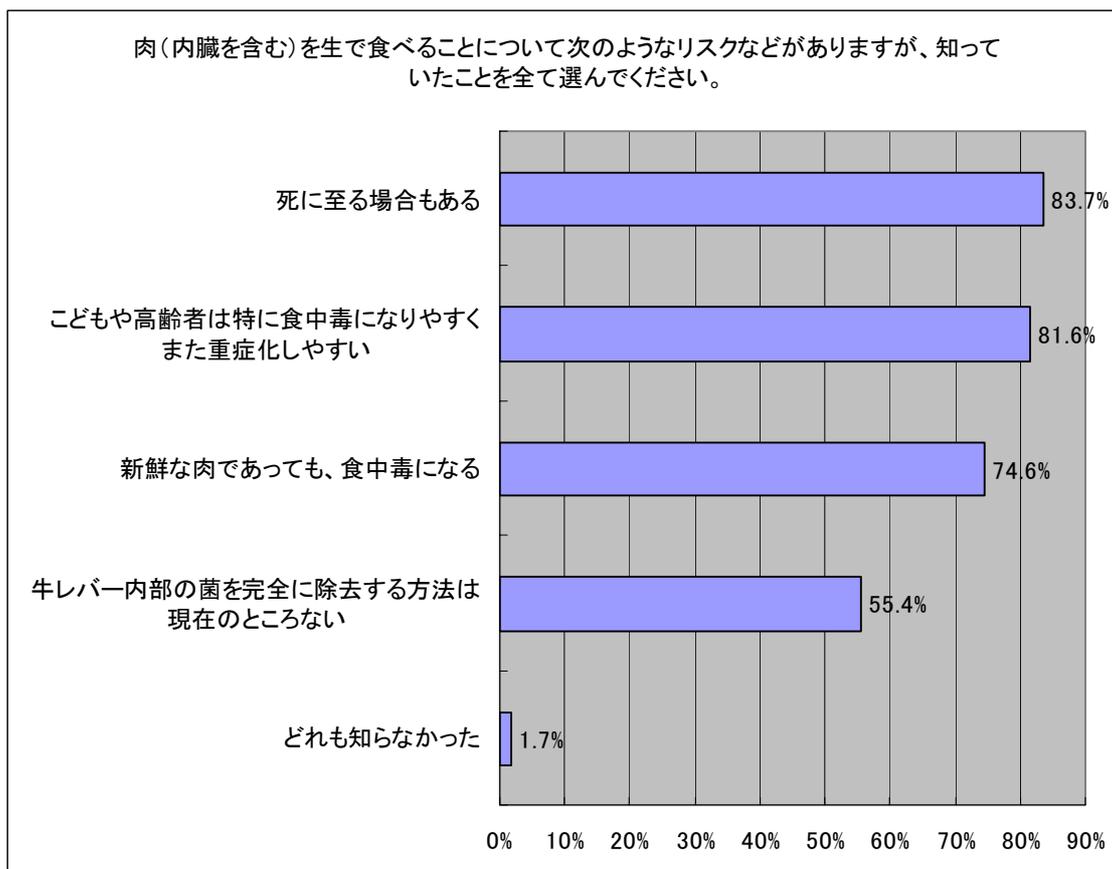
問7 問5において「(1) 放射性物質による食品汚染」を選ばなかった方にお聞きします。問5において「(1) 放射線による食品汚染」を選ばなかったのはなぜですか？あなたの考えに最も近いと思うものを1つ選んでください。

食品の安全性に不安を感じる原因として、「放射性物質による食品汚染」を選ばなかった理由は「流通している食品は検査されているから」が約半分を占めました。「放射性物質による食品汚染以上に不安に感じるがあったから」が19.5%、「微量の放射性物質を摂取しても健康への影響は考えられないから」が16.8%、「新聞や自治体ホームページなどに掲載されている検査結果を確認しているから」が8.0%でした。



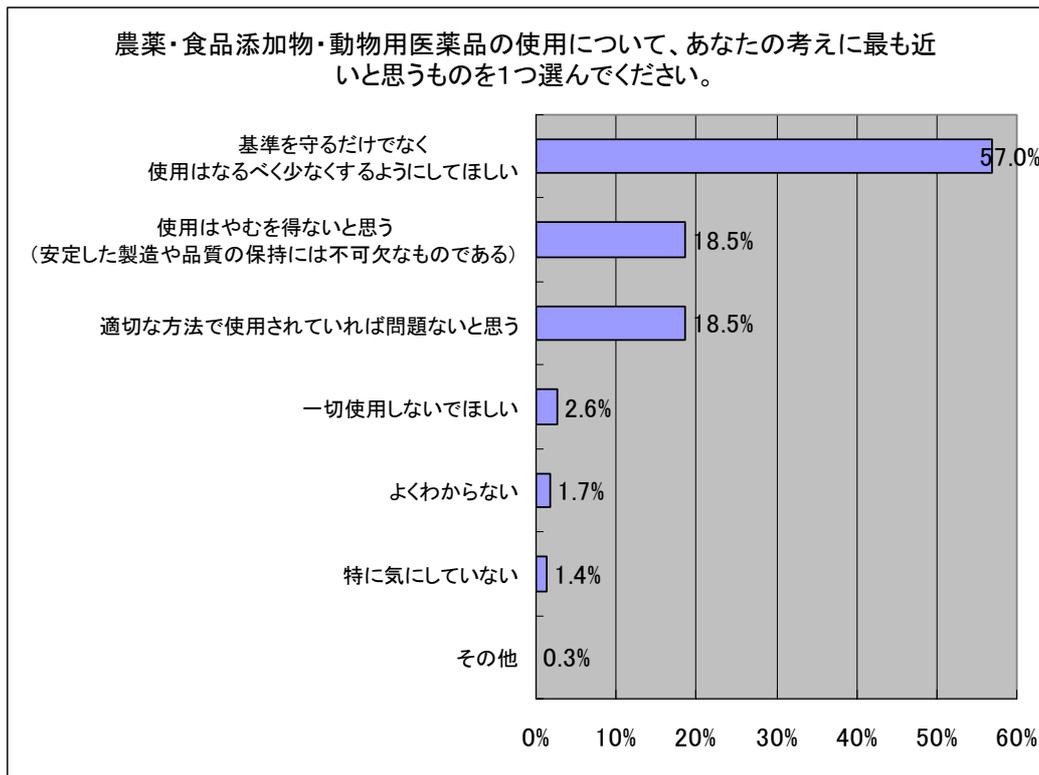
問 8 肉（内臓を含む）を生で食べることにについて次のようリスクなどがありますが、知っていたことを全て選んでください。

肉（内臓を含む）を生で食べることに関するリスクについて、「死に至る場合もある」及び「子どもや高齢者は特に食中毒になりやすく、また重症化しやすい」については、周知率は 8 割を超えました。また、「新鮮な肉であっても、食中毒になる」は 7 割、「牛レバー内部の菌を完全に除去する方法は、現在のところない」の 5 割を超えており、肉（内臓を含む）を生で食べることに関するリスクに関する知識は、いずれも一般に広く知られてきていることが分かりました。ただし、どれも知らなかった人も 1.7% 存在しました。



問9 農薬・食品添加物 1・動物用医薬品 2の使用について、あなたの考えに最も近いと思うものを1つ選んでください。

農薬・食品添加物・動物用医薬品の使用について半数以上の人「基準を守るだけでなく、使用はなるべく少なくするようにしてほしい」という考えでした。次いで「使用はやむを得ないと思う(安定した製造や品質の保持には不可欠なものである)」と「適切な方法で使用されていれば問題ないと思う」が同数で並びました。そのほか「一切使用しないでほしい」が2.6%、「よくわからない」が1.7%、「特に気にしていない」が1.4%でした。



1 食品添加物って？

食品添加物とは、「食品の製造の過程においてまたは食品の加工もしくは保存の目的で、食品に添加、混和、浸潤その他の方法によって使用するものをいう」と定義されています。

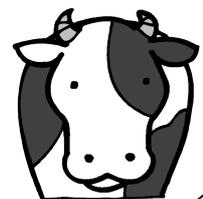
その役割には

- 食品の品質を保つ
(保存料、酸化防止剤等)
 - 食品の風味や外観を良くする
(甘味料、着色料、香料等)
 - 食品の製造や加工のために使用する
(凝固剤、乳化剤等)
 - 食品の栄養成分を補う
(ビタミン、ミネラル等)
- などがあります。

2 動物用医薬品って？

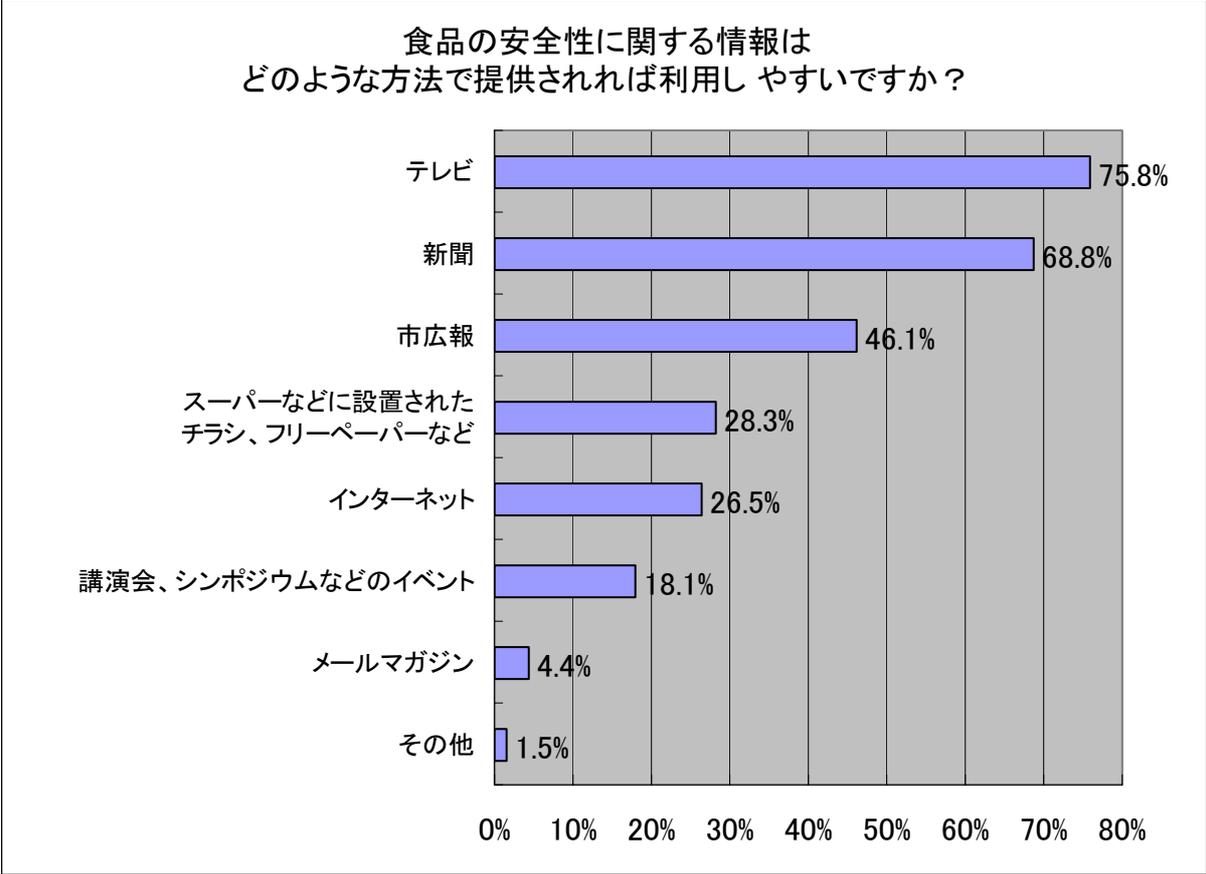
家畜や養殖魚などの病気の治療や予防のために使用される医薬品のことです。作用別に、抗生物質、寄生虫用剤、ホルモン剤などに分けられます。

畜水産食品中の動物用医薬品の残留状況がモニタリングされ、残留してはならないものや基準を超えた動物用医薬品が検出された場合は、違反食品として回収・廃棄などの措置がとられます。



問 10 食品の安全性に関する情報は、どのような方法で提供されれば利用しやすいですか？ 3つまで選んでください。

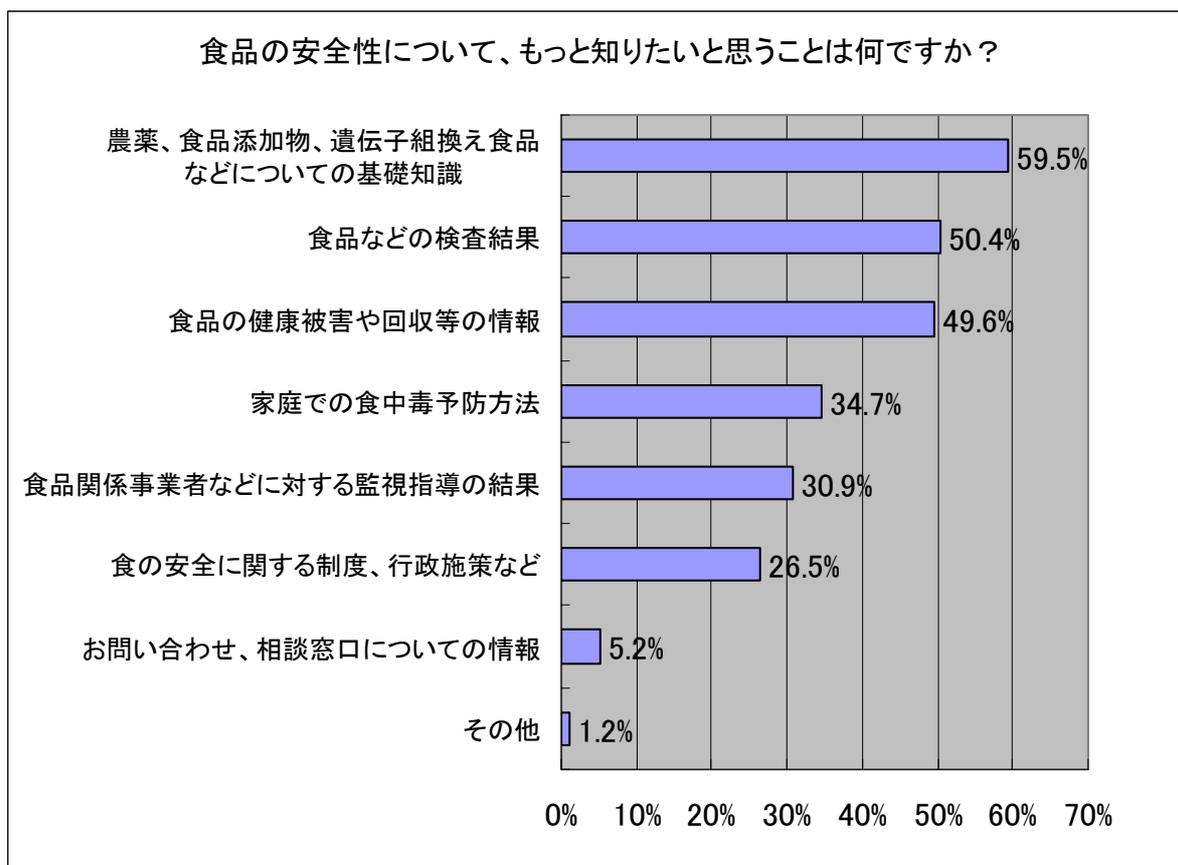
食品の安全性に関する情報について、「テレビ」での提供が利用しやすいと回答した人の割合が最も高く、75.8%でした。次いで「新聞」68.8%、「市広報」46.1%の順でした。さらに、2割を超える人が「スーパーなどに設置されたチラシ、フリーペーパーなど」、「インターネット」を挙げていました。



問 11 食品の安全性について、もっと知りたいと思うことは何ですか？3つまで選んでください。

食品の安全性について、もっと知りたい事柄として「農薬、食品添加物、遺伝子組換え食品などについての基礎知識」を選んだ人の割合が最も高く、59.5%でした。次いで、「食品などの検査結果」50.4%、「食品の健康被害や回収などの情報」49.6%、「家庭での食中毒予防方法」34.7%、「食品関係事業者などに関する監視指導の結果」30.9%、「食の安全に関する制度、行政施策など」26.5%の順でした。

一方、「お問い合わせ、相談窓口についての情報」を選択した人の割合は全体の5.2%でした。

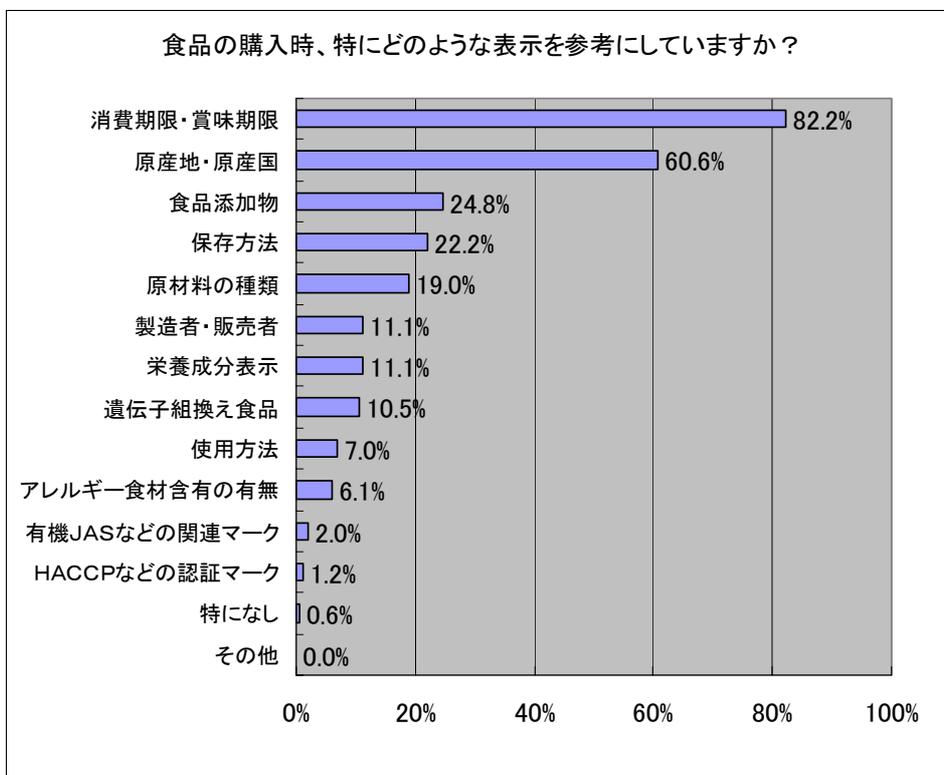


3 食品の表示について

問 12 食品の購入時、特にどのような表示を参考にしていますか？3つまで選んでください。

食品の購入時に参考にする表示として「消費期限・賞味期限」を選んだ人の割合が最も高く82.2%で、「原産地・原産国」の60.6%がそれに続きました。「食品添加物」、「保存方法」、「原材料の種類」はそれぞれ約2割の人が参考にすると回答しました。

一方、「製造者・販売者」、「栄養成分表示」、「遺伝子組換え食品」、「使用方法」、「アレルギー食材含有の有無」を選んだ人の割合は1割前後、「有機」JASなどの関連マーク、「HACCPなどの認証マーク」はそれよりさらに少なく、また特に表示を確認しないという人も0.6%存在しました。



3 栄養成分表示って？

食品や料理に含まれるエネルギーやたんぱく質、脂質、炭水化物、塩分等の栄養成分量を、パッケージやメニュー等に表示することです。

4 有機JASマークって？

農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないで、自然界の力で生産された食品を表しており、農産物、加工食品、飼料及び畜産物に付けられています。



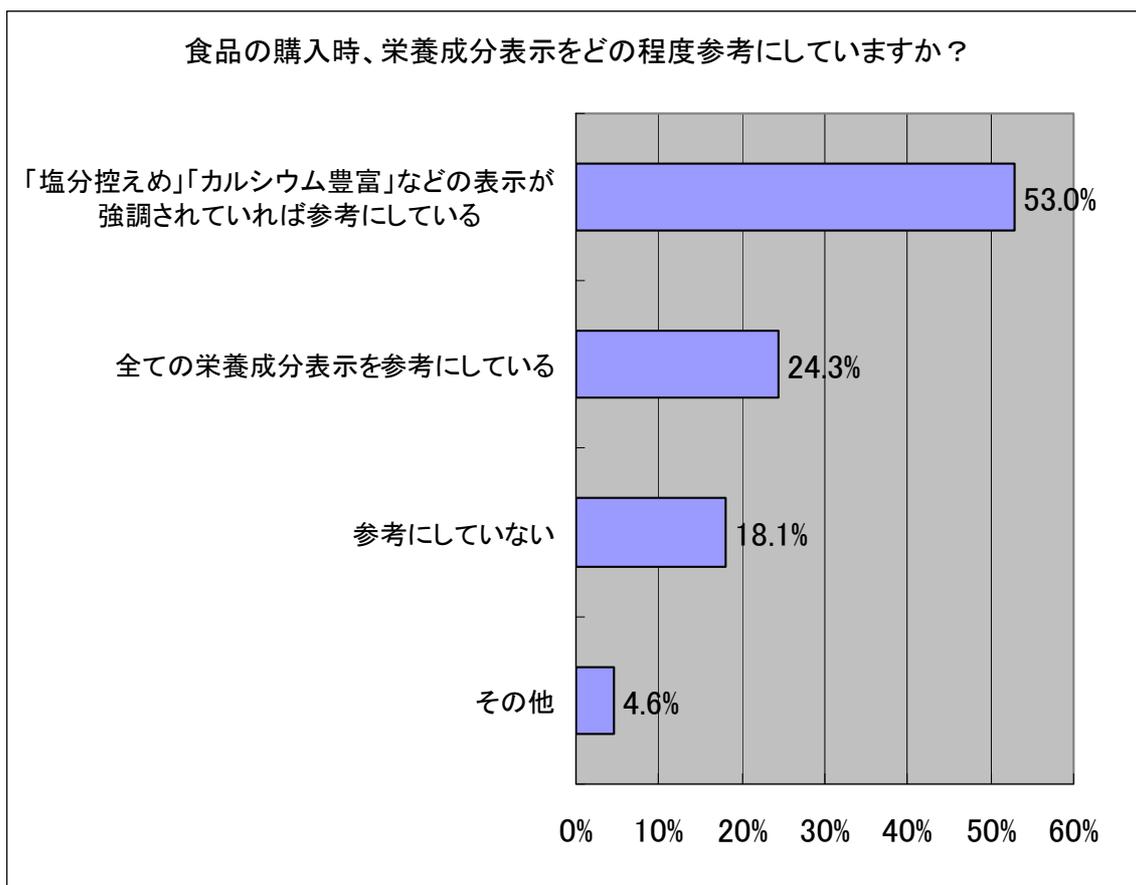
5 HACCPって？

危害分析重要管理点 (Hazard Analysis and Critical Control Point) の略で、原材料の受け入れから製造工程、製品の出荷までの段階で発生しうる各種のハザード (危害要因) をコントロールする手段を講じ、それを連続モニタリングすることで製品の安全性を保証するシステムです。

問 13 食品の購入時、栄養成分表示をどの程度参考にしていますか？

食品の購入時に、栄養成分表示について「塩分控えめ」「カルシウム豊富」などの表示が強調されていれば参考にしている」を選んだ人が最も多く、53%でした。次いで「全ての栄養成分表示を参考にしている」24.3%、「参考にしていない」18.1%でした。

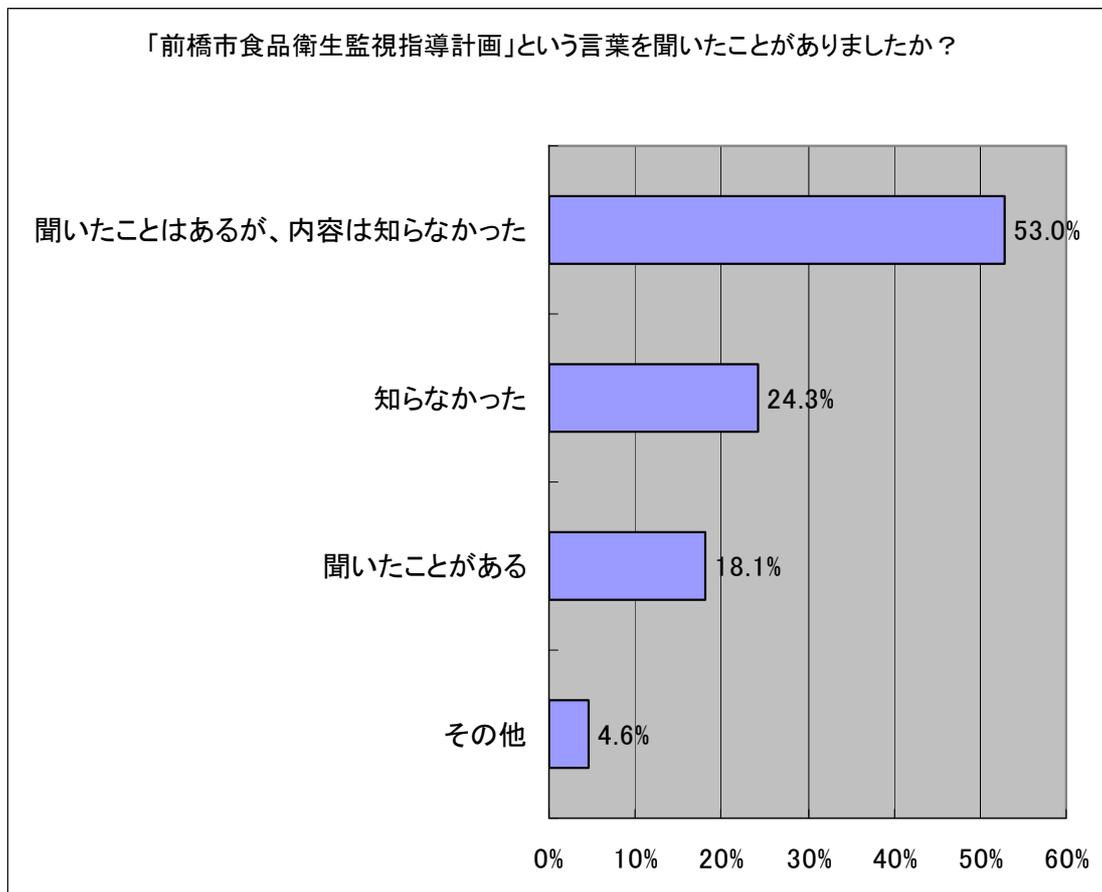
また、その他の意見として、カロリー表示を参考にしているという人が複数見られ、他にも表示が強調されているか否かに関わらず、一部の栄養表示（ナトリウムなど）を参考にしている人が散見されました。



4 保健所の業務について

問 14 「前橋市食品衛生監視指導計画」という言葉を聞いたことがありますか？

前橋市食品衛生監視指導計画について、「知らなかった」人と「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」の割合を合わせると77.3%で、ほとんどの人が前橋市食品衛生監視指導計画の内容を知りませんでした。



問15 市(県)行政にどのような取り組みを強化してほしいですか？3つまで選んでください。

行政に望む取り組みとして、「輸入食品の安全性確保」を選択した人の割合は46.4%、次いで「農薬の使用・残留に関する農作物の安全性確保」40.5%、「農畜水産物の放射性物質汚染調査」36.7%の順でした。

